

あびこ女性活躍推進事業 女性活躍推進プロモーション事業【千葉県我孫子市】

地域の実情と課題

- ・生産年齢人口における女性就業率は6割となっている。年代では、25歳から29歳をピークに30歳から39歳のM字カーブの底にあたる層でも65%超となっている。20・30代の都内通勤者が多くなっている。
- ・市民活動や農業分野、また、市内の大学では若い世代(女性)の就農促進の取組みが行われている。
- ・市では、講演会や情報紙などによる啓発事業を展開してきた。
- ・男女共同参画の形成にかかる施策の認知度や満足度が極めて低い。

事業の特徴

講演会や展示(参加見る聴く)、紙媒体(広く発信・情報の保存)、ホームページやSNS(拡散・コミュニケーション)など、多面的な情報発信を展開する。

本市の重点事業である若者定住化に向けた情報発信事業や市の女性創業支援事業、民間企業とも連携し、女性の活躍推進を“情報”の視点で集約した。

事業の効果

「女性の活躍」、「若い世代への情報発信」を軸に、各事業が連動して展開。ターゲットと伝えるメッセージが明確となった。

これまでのニーズを視点とした情報発信に加え、女性活躍という新しい価値を視点とした情報を発信。情報の質を向上。

新たな人的ネットワークが広がり、今後の女性活躍推進事業の基礎を築くことができた。

目的・目標

SNSなど多様な発信媒体を活用し、意識の醸成や機運を高め、「女性の活躍」をブランド化し、女性が活躍できる環境整備の基礎を築く。

女性活躍プロモーション事業サイトの新設

事業目標:女性活躍サイト月アクセス数

現状230件(H29) →目標300件(H32)

SNS情報発信を活性化

事業KPI:Facebook投稿数 現状7件(平成28年度)

※現状値はいずれも男女共同参画関連全体の数値

連携団体

講演会の講師選定、情報紙に掲載するインタビューなどの情報収集や事業のPRについて、市内にある川村学園女子大学、中央学院大学、株式会社あびベジ、我孫子市市商工会、あびこ女性会議(市民活動団体)、近隣自治体と連携し実施した。

今後の課題

若い世代に向けての情報発信は、同世代が女性活躍のロールモデルとして関心を持つテーマや人を継続的に取り上げていくことが求められる。そのためには、常にテーマや人物を新しい視点で選定することが必要である。自治体や事業者、経済団体など、新たなネットワークを開拓し続け、情報収集を心がけていくことが課題となる。

事業の概要-1

講演会

①新聞業界でスポーツ記者として活躍する女性
「ママの生き方、生かし方」
スポーツ取材の現場から
講師：中村有花さん（毎日新聞東京本社運動部記者）
6/30開催、参加者54人



孫子市女性活躍推進プロジェクト事業 講演会

ママの生き方、生かし方 スポーツ取材の現場から



講師：中村 有花さん
毎日新聞東京本社運動部記者

出産・育休を経て職場復帰、現在はプロ野球中継に取材、新聞記者の中で仕事と子育ての両立が、スポーツ分野で活躍するママの生き方を紹介します。

6月30日(土) アピスタホール
14:00~15:30(13:30開場)

お申し込みと詳細は...
電話、ファクス、インターネット、または右のQRコードからスマートフォンで

先着100人
どなたでも
無料

主催：孫子市

②被災地で活躍する女性
ピンチから未来への道づくり
—被災地で活躍する新妻さんと考える—
講師：新妻香織さん（社会起業家）
10/28開催、参加者52人



2018年度 孫子市女性活躍推進プロジェクト事業 講演会

10/28(日)
14:00~16:00
(13:30開場)
アピスタホール

被災地で活躍する新妻さんと考える

ピンチから未来への道づくり

講師：新妻 香織さん

＜新妻 香織さん＞
・1980年、福島県岩手郡大畑町生まれ。東北大学卒業後、東京でファッションデザイナーとして活躍。その後、被災地で社会起業家として活躍中。

＜セミナー内容＞
・被災地での活動のきっかけ
・被災地での活動の意義
・被災地での活動の課題
・被災地での活動の未来

お申し込みと詳細は...
電話、ファクス、インターネット、または右のQRコードからスマートフォンで

先着100人
どなたでも
無料

主催：あびこ文化会館 孫子市

情報紙

情報紙「かがやく」Vol.35 (9月発行)
働き方“自分スタイル”
我孫子で起業した女性たちに聞く

「自分スタイル」は、働くママの生き方を伝える情報紙です。働くママの生き方を伝える情報紙です。働くママの生き方を伝える情報紙です。

「自分スタイル」は、働くママの生き方を伝える情報紙です。働くママの生き方を伝える情報紙です。働くママの生き方を伝える情報紙です。

「自分スタイル」は、働くママの生き方を伝える情報紙です。働くママの生き方を伝える情報紙です。働くママの生き方を伝える情報紙です。

市内で起業し子育てしながら自分らしく働く2人の女性に取材

情報紙「かがやく」Vol.36 (3月発行)
しなやかにチームを育てる
女性リーダーに学ぶ

「しなやかにチームを育てる 女性リーダーに学ぶ」は、働くママの生き方を伝える情報紙です。働くママの生き方を伝える情報紙です。働くママの生き方を伝える情報紙です。

「しなやかにチームを育てる 女性リーダーに学ぶ」は、働くママの生き方を伝える情報紙です。働くママの生き方を伝える情報紙です。働くママの生き方を伝える情報紙です。

我孫子市出身で全国的に有名なコスメ・美容の総合サイト@cosmeを運営する株式会社アイスタイル取締役・山田メユミさんを取材

リーフレット

A5判、カラー16ページのリーフレットを作成（3月発行）

女性の働き方ダイバーシティ
仕事を選ぶ 生き方を考える
我孫子の先輩たちからのメッセージ



電車を利用する、駅での送迎という職場でも女性の活躍が盛んであると感じませんか。駅のホーム降りからホームを上がるだけなり、案内アナウンスの声を聴いたり、JR東日本東武東上線などの乗車券が利用できる女子乗客区にも、女性の運転士や車掌が活躍されています。市区を走る、女立駅止の伊藤美穂さん。2019年3月13日撮影

任意の勤務で女性が活躍！
JR東日本東京支社我孫子運輸区の女性運転士 伊藤美穂さん

特集1 鉄道分野で女性が活躍！
JR東日本東京支社我孫子運輸区の女性運転士
特集2 消防分野で女性が活躍！
我孫子市消防本部の3人の女性消防吏員

我孫子の先輩たちからのメッセージ（我孫子で農業、福祉で働く、働きながら大学院へ、地域で活動する）、市内大学の先生に聞くこれから働くみなさんへ（中央学院大学准教授・皆川満寿美さん、川村学園女子大学・齋藤美恵子さん）、我孫子市女性活躍推進計画を読んでみよう、SDGsをご存知ですか、ほか



働きながら大学院へ 中野まきよさん
地域で活動する 朝川真依子さん

我孫子市消防本部の3人の女性消防吏員
我孫子市女性活躍推進計画

企画展示

全長10メートルの男女共同参画・女性活躍推進年表を作成し、市生涯学習センター「アビスタ」でロビー（ストリート）展示を実施
期間：6/17-6/30



SNS実証実験



柏市とSNSについて情報交換し、「女性の働き方ダイバーシティ」をテーマにFacebookページの実証実験を開始。市の情報以外に、国内公的機関のイベント、国際機関の発表データなどを発信。継続試行中

「けんせつ姫」と連携

フリーペーパー「けんせつ姫」を市内公共施設・学校等で配布。同誌は建築・土木業界の現場で働く女性たちを紹介するもの。同誌を発行する土佐工業から代表取締役・柴田久恵さんほか編集部のみなさんが、市を訪問。同誌が建設分野の女性活躍推進の一助となれば、とアピールした

